



報道関係各位

2011年1月27日

学校法人立教学院 立教大学

### 立教大学と武蔵野銀行が連携 『行田まち歩きマップ』～ぶらって行田～を作製 観光活性プロジェクトの第3弾

立教大学（吉岡知哉 総長）は、株式会社 武蔵野銀行（加藤喜久雄 頭取）との産学連携協定に基づき『行田まち歩きマップ』～ぶらって行田～を作製し、2月4日（金）から本学のほか、武蔵野銀行本支店、埼玉県庁、行田市役所、行田商工会議所、秩父鉄道全駅及びJR高崎線 熊谷駅、行田駅で配布を開始します。

本学は2007年7月、埼玉県の地域活性化に貢献することを目的に武蔵野銀行と産学連携協定を締結しました。同協定に基づく具体的な取り組みとして、埼玉県の観光活性化プロジェクト「埼玉 地域交流フットパスプロジェクト」を策定しました。これは、同県東部地域における「まち歩き」の誘致を目的としたもので、幸手市、羽生市を対象とした「まち歩きマップ」を2008年度に『ぶらって幸手』、2009年度には『ぶらって羽生』を作製しました。これに続く第3弾として、このほど行田市を対象とした『ぶらって行田』が完成しました。

行田市は、さきたま古墳、忍城、古代蓮に代表される豊富な観光資源だけでなく、歴史のある街並み、蔵の間を抜ける小路など、街歩きの楽しさも感じられる地域です。『ぶらって行田』は、本学観光学部の学生が現地調査を繰り返して興味を持ち、面白いと感じたものの中から「懐かしさ」や「はじめて」をキーワードにさまざまな内容を盛り込み、作製したものです。

『ぶらって行田』を使用した街歩き誘致活動は今後、地域で持続可能な観光活性化事業として、地元の皆さまに受け継いでいただく計画です。このため、2月4日（金）『ぶらって行田』マップ完成披露・贈呈式を行います。

日時	2011年2月4日（金） 13:00～15:00
会場	行田市商工センター（行田市忍2-1-8）TEL(048)553-0510
内容	① マップ完成披露・贈呈式 『ぶらって行田』を披露し、本学と武蔵野銀行から行田市へマップを贈呈する式典を開催いたします。 ② まち歩き会 式典終了後、本学の学生がガイド役となり『ぶらって行田』を使用して参加者を案内する「まち歩き会」を実施いたします。

以上

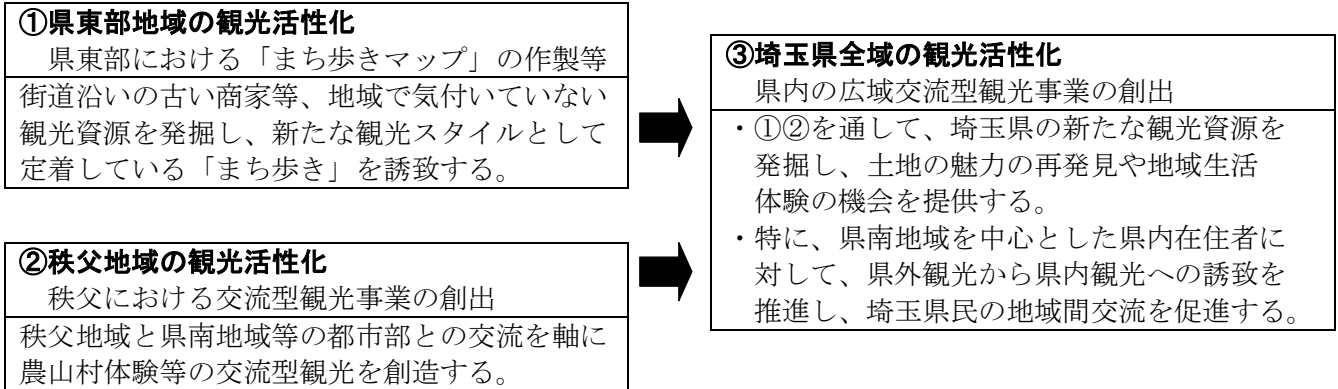
#### <お問い合わせ先>

立 教 大 学      リサーチ・イニシアティブセンター      : (048) 471-6901



(別紙)

■埼玉 地域交流フットパスプロジェクトについて



■『ぶらって行田』について

<p>コンセプト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さきたま古墳、忍城、古代蓮に代表される豊富な観光資源のみならず、歴史あるまち並み、蔵の間を抜ける小路等、まち歩きの楽しさも感じられる「行田市」を選定。</li> <li>・ 新たな観光として注目されている「まち歩き」を誘致し、地元住民であっても、普段気付かない隠れたまちの魅力を発見する楽しさを提供する。</li> </ul>
<p>特 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学観光学部の学生が中心となり、学生が実際に何度も行田市街を歩き、現地調査を行い、行田のまちの魅力を発掘し、コンセプトやデザイン等を決定。</li> <li>・ 学生が地域活性化に重要とされる「若者」、「よそ者」の視点で、掲載店舗や商品等を選定。</li> <li>・ 行田のまちを歩く人をイメージした様々な「まち歩きキャラクター」を創出し、各キャラクターがお薦めのまち歩きコースを紹介。</li> <li>・ 行田市内には、無料のレンタサイクルも豊富にあることから、自転車で巡るコースも設定。</li> </ul>
<p>仕 様</p>	<p>A4版 中綴じ8ページ</p>
<p>印刷部数</p>	<p>初版4万部</p>
<p>配布開始</p>	<p>2011年2月4日(金)</p>
<p>配布場所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立教大学</li> <li>・ 武蔵野銀行(全店、法人オフィス)</li> <li>・ 埼玉県庁</li> <li>・ 行田市役所、行田商工会議所、埼玉県利根地域振興センター</li> <li>・ 秩父鉄道(全線35駅)</li> <li>・ JR高崎線(熊谷駅、行田駅の2駅)</li> </ul>